

広報

おおたわら

2023

5

No.1310



特集

大田原市と相撲

目次

- 03 名誉市民 黒田杏子氏 ご逝去
- 04 特集
大田原市と相撲
- 06 トピックス
大田原市史編さん刊行物 販売中／2022
とちぎ国体無事終了／軽自動車税(種別割)納
税通知書の発送と減免の手続き ほか
- 10 健康おおたわら塾
5月31日は世界禁煙デーです
- 11 市からのお知らせ
健康・福祉／税／くらし ほか
- 18 地域のひろば
地域おこし協力隊活動レポート／なす風土記
ものがたり／知って得するくらし情報 ほか
- 21 スナップおおたわら

■市民憲章■

わたしたちは
心身をきたえ 仕事にはげみ
大田原を豊かなまちにしましょう

■大田原市役所■

〒324-8641
栃木県大田原市本町1丁目4番1号
電話 0287(23)1111
業務時間 午前8時30分～午後5時15分(月～金)
延長窓口 午後5時15分～7時(※)
※市民課・国保年金課・税務課・子ども幸福課
保育課・会計課のみ

「広報おおたわら」はホームページなどでも
ご覧いただけます。

[https://www.city.ohatawara.tochigi.jp/
category/bunya/administration/publicity/
kouhou-ohatawara/](https://www.city.ohatawara.tochigi.jp/category/bunya/administration/publicity/kouhou-ohatawara/)



広報おおたわらの内容を音声で聞くことができ
ます。『音訳(デジター)版広報おおたわら』をご希望の
方は、下記へお問い合わせください。

問 福祉課 本3階 TEL 0287(23)8921

「広報おおたわら」のご意見・ご感想をお寄
せください。

[https://www.city.ohatawara.tochigi.jp/
voice/5/](https://www.city.ohatawara.tochigi.jp/voice/5/)



問 情報政策課 本6階 TEL 0287(23)8700

◆今月の表紙

表紙は、第72期ALSOK杯王将戦七番勝負において王将位
を防衛した藤井 聡太 王将の祝勝会の様子です。3月24日にピ
アートホールにて開催され、関係者・一般ファンら約400名が
参加しました。

3月25日には関連イベントとして、ホテル花月にて市内の小
中学生10人を対象とした藤井 王将と青野 九段による指導対局
が行われました。また、今期王将戦を振り返るトークイベント
も開催され、多くの方に注目された羽生 善治 九段との熱戦を振
り返りました。



小中学生との指導対局

藤井 王将と青野 九段による
トークイベント



藤井 王将による大盤解説

◆掲示板

● マイナンバーカードの休日交付【予約制】 ●

- 日 時 5月14日(日)、5月20日(土)、5月28日(日)
午前8時45分～正午、午後1時～4時30分
- 場 所 本庁舎2階市民課窓口
※南側玄関から入り、エレベーターをご利用ください。
- 対象者 マイナンバーカードを申請済で、市から『交付通
知はがき』が届いた方 ※事前予約が必要になります。

【予約専用電話】 TEL 0287(23)8755

- 持ち物 ①交付通知はがき、②暗証番号設定用紙、③身分証
明書(官公庁の発行した顔写真付きの物1点、または保険証
など2点)、④通知カード(お持ちの方のみ)、⑤住民基本台
帳カード(お持ちの方のみ)

問 市民課 本2階

TEL 0287(23)8755

最新情報はこちら





大田原市名誉市民である俳人・黒田杏子氏が、令和5年3月13日に逝去されました。

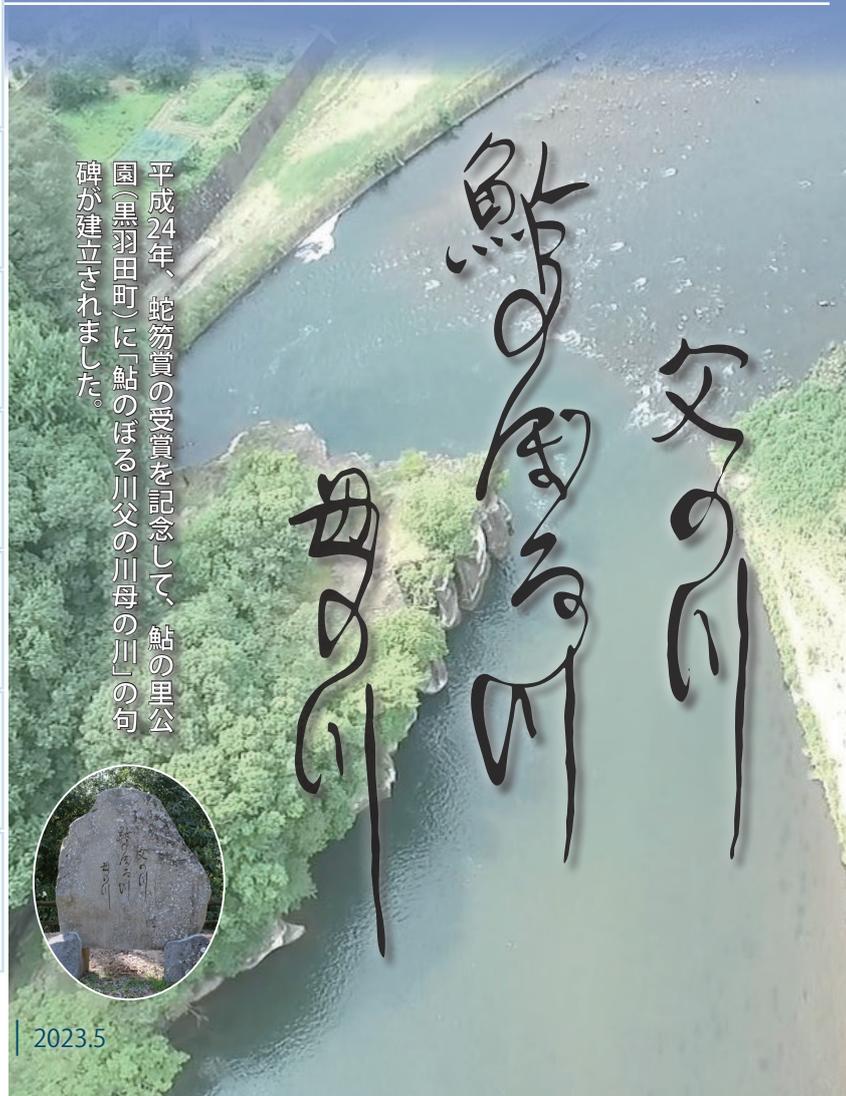
黒田杏子氏は、昭和13年、東京都本郷に生まれ、昭和19年に兄の学童疎開に伴い大田原市(旧黒羽町)の黒羽田町に戦時疎開されました。18歳で東京女子大学の俳句会「白塔会」に入会し、山口青郵の指導を受けました。昭和43年には「日本列島桜花巡礼」を発心し28年かけて全国の桜を巡るなど、精力的に活動されました。

平成22年に第五句集『日光月光』で俳句界の最高賞「蛇笏賞」を受賞されたほか、俳人協会賞や現代俳句大賞など、様々な賞を受賞されました。

平成4年から「黒羽芭蕉の里全国俳句大会」の選者をお引き受けいただき、本市の文化振興に長年貢献した功績により、令和2年に大田原市名誉市民として推挙されました。

在りし日のご活躍、ご功績に対し、敬意を表しますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

名誉市民 黒田杏子氏 ご逝去



鮎のふる川
母の川

平成24年、蛇笏賞の受賞を記念して、鮎の里公園(黒羽田町)に「鮎のふる川父の川母の川」の句碑が建立されました。



平成4年に「第4回黒羽芭蕉の里全国俳句大会」の選者として旧黒羽町を訪れて以降、令和4年まで29回の長きにわたり、同大会の選者を務めてくださいました。